

第6章 道の駅

和田鮎奈

6.1. 道の駅とは

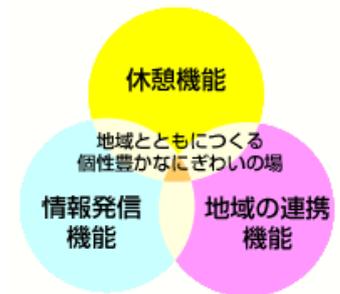
6.1.1 道の駅の機能

道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、そして「道の駅」をきっかけに町と町とが手を結び活力ある地域づくりを共に行うための「地域の連携機能」、の3つの機能を併せ持つ休憩施設「道の駅」が誕生した。

提供サービスとして、駐車場・トイレ・電話は24時間利用が可能である。また案内人がいて、親切に情報を提供している。

さらに、配慮事項として一つ目に年少者、高齢者、障害者等、様々な人の使いやすさに配慮すること。二つ目に景観に十分配慮することが挙げられている。

図 6-1 道の駅の3つの機能



出典：北の道の駅 HP

6.1.2 道の駅の現状

道内の道の駅の数、全部で109駅ある。その中でも今回私たちが行った網走管内のオホーツクの道の駅は全部で19駅となっている。一番多いのは道央の39駅である。

道の駅の登録設置状況は1993年4月22日に旧建設省と地方自治体の協力で全国で103箇所が登録されたのを皮切りに、以後その登録数は伸び続けている。登録抹消となった事例は道の駅茶処 和束（京都府）のみ。2010年8月9日現在では、全国に952箇所の道の駅がある。

6.1.3 スタンプラリー

地域別に各地で実施されており、北海道では、北海道内にある道の駅（2010年度は109駅）に設置されたスタンプを、専用のスタンプ帳（2004年までは無料。2005年からは、100円での購入が必要）に収集する。毎年スタンプラリーを行っており、収集したスタンプ数に応じて道の駅特産品などが抽選で当たる（応募期間はおよそ毎年4月中旬から11月3日までで、11月下旬に抽選を行う）。また、期間内（約2年間）に全駅収集すると全駅完全制覇認定証と全駅完全制覇ステッカーがもらえる（こちらは期間内であればいつでももらえる）。

かつては全駅制覇の期間が約1年間であったが、道の駅の数が増え現在の期間になった。

道の駅は広い北海道内にくまなく設置されており、ルートを正確に計画しないと膨大な距離を行き来する事になる。2003年までは道の駅の開館時間外でもスタンプを押せたが、2004年以降は一部施設を除き開館時間内のみ可能となった。

図 6-2 サロマ湖の標識



出典：北の道の駅 HP

6.2. オホーツク近辺の道の駅

6.2.1 サロマ湖

原生植物などが茂る幌岩山を背景にサロマ湖に面した道の駅。道の駅「サロマ湖」は、オホーツク沿岸の観光拠点施設の役割を担っており、物産館「みのり」を併設し、充実した観光情報の提供や、町内やオホーツク海沿岸の特産物を多数揃えている。また、道の駅周辺は、体験農園、ふれあい牧場、林間広場などがあり、娯楽施設としても楽しめる。

施設としては、駐車場（普通車 50 台・大型車 3 台）、トイレ、身障者用設備、電話、店舗・売店、喫茶・軽食、無料休憩所、情報コーナー、公園、郵便が設けられている。

図 6-3 サロマ湖の位置



出典：北海道 道の駅 HP

6.2.1.1 特産品販売コーナー

ホタテ貝やカニ、鮭などの新鮮な解散品が豊富で、活ホタテ・牡蠣は季節限定で販売しており、また、全国に地方発送もしている。販売コーナーは、サロマ湖コーナー、昆布類コーナー、自然食品コーナー、特設コーナー、北海道名品コーナーに分かれている。

焼き物コーナーには、佐呂間特産のホタテの浜焼き（通年）や、季節によっては焼き牡蠣（11月～1月）が味わえる。

図 6-4 一年生 with 北人さん



撮影：角一典先生

6.2.1.3 ふれあい牧場・観光農園(5月～11月)

道の駅サロマ湖「物産館みのり」の周りにはふれあい牧場が広がっていて、季節の花が楽しめる観光農園と、季節によりポニー馬車に乗ることができる。今年、2008年の5月末には5頭の子馬が生まれ、今現在は山手の放牧場に親馬7頭、子馬5頭、国道側の放牧場には親馬2頭、合計14頭のポニーを放牧中だそうだ。

図 6-5 ポニーの親子



出典：オホーツク観光情報ブログ

6.2.2 愛ランド湧別

豊かな緑とサロマ湖を眺めながら食事が楽しめる道の駅。道の駅「愛ランド湧別」は、国道238号サロマ湖沿いの小高い丘の上であり、家族向け遊園地「ファミリー愛ランドYOU」と自然派公園「いこいの森」が隣接しており、遊園地にある、海拔100mの観覧車からのサロマ湖の眺めは絶景。また、湖畔に続く「いこいの森」では澄んだ空気を満喫し森林浴を楽しみながら、眼下のサロマ湖を一望できる。

施設として、駐車場(普通車202台・大型車5台)、トイレ、身障者用設備、電話、ショップ、レストラン、公園、インフォメーション、無線LAN接続が設けられている。

図 6-6 愛ランド湧別の標識



出典：北の道の駅 HP

図 6-7 愛ランド湧別の位置



出典：北海道 道の駅 HP

6.2.2.1 いこいの森

眼下にはサロマ湖を一望でき、ファミリー愛ランドYOUに隣接している。天然林の木立の中を延びる2400mの遊歩道は、ウッドチップが敷きつめられていて歩きやすく、サロマ湖畔の自然に親しみながらのんびりと森林浴やスタンプラリーが楽しめるようになっている。

6.2.2.2 ファミリー愛ランドYOU

海拔 100mの観覧車や延長 800mのゴーカートなど 18種類の遊具がある。営業期間は4月29日～10月第2月曜日。営業時間は9:30～17:00(9月21日からは16:00まで)。休園日は毎週月曜日で、入園料は無料・1日乗り放題券は一人1600円(3歳以上)である。

図 6-8 ファミリー愛ランドYOU



出典：湧別町公式 HP

6.2.3 しらたき

湧別川の上流 緑のてっぺん しらたき。「道の駅」が所在する遠軽町は旭川市から端野町に至る国道333号と平成14年3月に開通した国道450号が東西に横断している。周辺には高原キャンプ場や北大雪スキー場などアウトドアフィールドがあり、さらには北大雪の雄大なロケーションを楽しむことができる。

この施設は特産品の販売などを行う売店や食堂機能を備えているほか24時間使用できる休憩スペースも確保しており、快適な利用とドライバーの疲れを癒す施設となっている。

また、高規格幹線道路である旭川紋別自動車道沿いに位置し、オホーツク圏への玄関口としての役割を担う「道の駅」である。

施設として、駐車場(普通車25台・大型車9台)、トイレ、身障者用設備、電話、店舗・売店、レストラン、無料休憩所、インフォメーションが設けられている。

図 6-9 しらたきの標識



出典：北の道の駅 HP

図 6-10 しらたきの位置



出典：北海道 道の駅 HP

6.2.4 流水街道網走

オホーツク海と知床を望む観光と交流の拠点。カモメが飛びかい、漁船が行きかう網走川河口に位置し、オホーツク海や知床半島を一望できる道の駅「流水街道網走」。観光情報を始めとした地域の多様な情報発信や、地元の農水産加工品の販売などを行っており、冬期間は流氷砕氷船「おーろら」の発着場として流氷観光の拠点にもなる。

施設として、駐車場（普通車 106 台・大型車 14 台）、トイレ、身障者用設備、電話、店舗・売店、レストラン、喫茶・軽食、無料休憩所、インフォメーション、AED、乳幼児用設備、展望地、一般利用インターネット、無線 LAN 接続が設けられている。

6.2.4.1 地元特産品販売コーナー

流氷の海をイメージしたコーナーで、マセせんべい、網走プリンなど、他ではなかなか手に入らない隠れた一品にスポットを当てている。農産加工品や銘菓のほかにも、網走刑務所で製作された「三眺焼」の花瓶やペアの湯飲み、道の駅グッズ、「おーろら」グッズなども取りそろえている。

6.2.4.2 地元農水産物直売コーナー

冬期間、流氷砕氷船「おーろら」の待合所として使用されるスペースに、地元農水産物直売コーナーがオープン。サーモンやカニ、ホタテ、産みたてのタマゴなど、網走ならではの活きの良い食材をたくさんそろえている。また、ここはお客の休憩やイベントの開催などにたびたび使用される多目的スペースとなっていて、地域活性化の一端を担っている場所でもある。

図 6-11 流水街道網走の標識



出典：北の道の駅 HP

図 6-12 流水街道網走の位置



出典：北海道 道の駅 HP

図 6-13 地元特産品販売コーナー



出典：北の道の駅 HP

6.2.4.3 足岩盤浴

正面入口前に設置されている「流氷」のオブジェをくぐると休憩コーナーがある。ここでは「流氷の天使クリオネ」が見られるほか、無料で利用できる「足岩盤浴」が設置されている。

図 6-14 地元農水産物直売コーナー



出典：北の道の駅 HP

6.2.5 おんねゆ温泉

世界最大級のからくりハト時計塔のある道の駅。留辺蘂町の国道 39 号沿いにある道の駅「おんねゆ温泉」は、大雪観光圏と阿寒・網走・知床観光圏を結ぶ中継地点であり、周辺には歴史ある温泉街「温根湯温泉」がある。

見どころは、からくり人形と世界最大級のハト時計を組み合わせた、高さ約 20m のシンボルタワー「果夢林」。時報に合わせて、さまざまな楽器を手にした森の妖精が踊りはじめると、羽の長さ約 2m という大きなハト「ポッポちゃん」が登場する。

施設として、駐車場（普通車 100 台・大型車 20 台）、トイレ、身障者用設備、電話、店舗・売店、レストラン、無料休憩所、インフォメーション、AED、公園、乳幼児用設備、博物館・美術館、ガソリンスタンド、ポスト、体験施設が設けられている。

図 6-15 おんねゆ温泉の標識



出典：北の道の駅 HP

図 6-16 おんねゆ温泉の位置



出典：北海道 道の駅 HP

6.2.5.1 からくりハト時計塔「果夢林」

道の駅のシンボルタワー「果夢林」は世界最大級のハト時計である。「果夢林」には、果てしなく夢が広がる木（林）の町という意味が込められている。

図 6-17 からくりハト時計塔



出典：北の道の駅 HP

6.2.6 かみゆうべつ温泉チューリップの湯

道の駅が天然温泉の日帰り入浴施設として登場。中湧別駅の駅舎が取り壊され、跡地に道の駅「かみゆうべつ温泉チューリップの湯」（旧：中湧別）と「鉄道資料館」、「湧別町文化センターTOM」が建てられた。

2002年4月7日にオープンした上湧別初めての日帰り温泉施設で、広々とした浴室は大きな窓から日が差し込み明るく開放感満点である。大浴場のほかにジャグジーバス、露天風呂、サウナなどが設置されている。風呂上がりにリラックスできる休憩室もあり、1日中のんびり過ごせる。

施設として、駐車場（普通車 93 台）、トイレ、身障者用設備、電話、店舗・売店、レストラン、喫茶・軽食、無料休憩所、インフォメーション、AED、公園、乳幼児用設備、博物館・美術館、温泉、運動場、無線 LAN 接続、ポストが設けられている。

図 6-18 かみゆうべつ温泉
チューリップの湯標識



出典：北の道の駅 HP

図 6-19 かみゆうべつ温泉
チューリップの湯の位置



出典：北海道 道の駅 HP

6.2.6.1 鉄道資料館

湧網線（ゆうもうせん）は、日本国有鉄道が運営していた鉄道路線（地方交通線）である。道の駅はもともと旧中湧別駅の敷地に建てられたもので、文化センターTOMに隣接して、旧中湧別駅の跨線橋や鉄道資料館がある。また、鉄道資料館には1987年に廃線となったJR名寄線・湧網線の旧中湧別駅構内の袴線橋、プラットフォーム、ラッセル車などをそのまま保存し、列車4輛に写真、関係資料などを展示している。

図 6-20 鉄道資料館



出典：北の道の駅 HP

図 6-21 鉄道



出典：ウィキペディア

6.2.6.2 天然温泉

和風と洋風の浴場が男女日替わりで楽しめる温泉である。和風はヒノキ壁、洋風は石材壁で雰囲気が異なっている。また、浴槽の外にはサウナ室もあり、ミニ日本庭園風と洋風の 2 種類の風景も楽しめる。

泉質はナトリウム一酸化水素塩・塩化物泉。効能は神経痛・関節痛・冷え症など。

図 6-22 浴場



出典：北の道の駅 HP

参照 HP

・北の道の駅 HP

<http://www.hokkaido-michinoeki.jp/index.html>

・ウィキペディア

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%AD%E6%B9%A7%E5%88%A5%E9%A7%85>

・オホーツク観光情報ブログ

<http://tabiq.blog123.jp/archives/2008/07/000083.php>

・湧別町公 HP

<http://www.town.yubetsu.lg.jp/50shisetsu/6nou-kankou/ai-land-you.html>

・北海道 道の駅 HP

<http://www.n43.net/michinoeki/index.htm>